



乱馬  
½  
続編

片耳豚  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





**続行します**

親父の借金が元で  
富豪のおっさんに  
困われることになった乱馬  
ついてないことに  
おっさんは下衆系性獣だった  
連日連夜の調教劇に  
アナルは屈服  
しかし意外と元気なようなので  
続行します。



それではこれより  
早乙女乱馬の指名権を  
入札して頂きたく存じます

屋敷に来てからひと月が過ぎて  
俺は仕事をしようになった



昼間は賭け試合——  
これだけなら問題ねえが  
厄介なオマケがある  
試合を見た成金ジジイから  
夜の指名を受けるのだ

試合に出る以上俺に拒否権はない



それでもって

——とかさそうするように  
仕向けられた  
自力で金を稼ぐ手段は二つだけ

夜の仕事は単純に——  
俺の体を成金ジジイの  
自由にさせることだ



金貸しのおっさん曰く、俺はかなり人気があるらしい

確かに試合のある日は必ず指名されるからマジなんだろう……

あ……くそ……オブション付きかよ——馬鹿みたいに高い薬なんだから

そんな金があるなら俺によこせてんだ!

嫌々ながら無抵抗でいるしかないとは年甲斐もなく大変興奮するよ!

畜生……このジジイっ! ——っ! く、薬使つてケツマンコ弄んのかよっ!

やべえバレてる——おっさんに調教されちまう俺のケツマンコ……っ! ただでさえ敏感なのに!



ここ最近おつさんに呼ばれねえから  
油断してた……最——悪だっ！

でも  
薬使っておいて  
何で一気に来ねえんだ？  
まさか——

こい……つネチつこい！  
ゆつくり突いて  
生殺しにする動きだ

イクつ——けど浅え……  
やめろお……思い出しちまうだろお

ちきしよう……こいつもそつだ  
なんで最近の客は  
焦らしてばっかりなんだ？







ここ三日は同じ爺さんに指名される  
胸をひたすらいたぶってくる変態だ

指名を受けるようになってから  
やたらと胸を弄られるようになった  
どいつもいつも目立つところから  
手をつけやがる

最近乳首の感度がヤバい気がする  
胸も前より一回り以上デカくなって  
不便で仕方ない

何もつけずに服を切ると  
乳首が擦れて腰が抜けそうになる  
だんだん俺の体がいやらしく  
変えられてる——くそっ……



最近は複数人の相手をする時がある



バニーの格好で来るように言われたから  
嫌な予感がしたが案の定  
前におっさんに連れて行かれた会場で  
あったオヤジどもだった



洗っていないチンポは  
匂いがヤバかった  
なんとというか——クラクラする  
ヤバい——発情するかも

「発情バニーちゃんに人參サービス！」  
——うるせえよっ！



バニー姿の俺に奉仕させまくりたいらしい——下衆だ

何いんたすま...

とんでもない量の射精を  
代わる代わる口に吐き出される

青臭い匂いに  
目が回りそうになるが  
吐き出すなど言われて  
渋々口に溜める

「淫乱バニーちゃんには  
せつかくのご馳走なんだから  
きちんと残さず食へようね」  
——こいつら最悪だ

「おおく入ってる入ってる」

「ほーら好き嫌いせずに  
クチュクチュしようね」

「おー完食完食♪  
バニーちゃんお代わりは沢山あるからね」

ホントに最悪だ



おさんに呼ばれなくなってから  
二週間が過ぎた——  
認めたくねえが俺の体は  
相当マズいことになっていた

モァ

——イケないのだ

モァッ

ほぼ毎日——カラダを  
ねちつくく弄られたせいで  
どこもかしこもが敏感になっているのが  
とにかく辛い……

浅くはイケても本格的にイケない  
ここ二週間はほとんど生殺しだ

くそお……つらい イケない  
イケない——イケない

俺の体をこんなにした  
おつさんならイカせてくれるかも

冗談じゃねえぞ！  
何考えてやがる！

イキたい——

仕事を始めてから  
三週間がたった  
今日はどうも特別な客らしく  
試合もなしで直接呼ばれた

あれからもやっぱり俺は  
満足出来ずに悶々としている  
気を抜くとポウッとしてしまう  
のだから相当追い詰まっている

足取りは重いが今日の客は  
金払いがいいらしいから我慢だ  
いつも通りの無心で俺は  
廊下を歩く

入った瞬間ヤバイと思った



指定された  
部屋に入ると



むせ返るような匂いの中で  
おっさんが知らない女とやりまわった

なんのつもりか聞くと  
「少し待て、これが終わったお前だ」  
なんてことをぬかしやがる



嫌な予感しかしなかったが  
仕方がないのでその場で待つと  
直ぐさま後悔することになった

匂いと声で  
いつてる……のが分かる  
つっ立っているだけなのに  
追い詰められてる気がしてくる



急にチンポを突きつけられて  
俺は固まってしまった  
グチヨグチヨに犯される  
そう考えただけで頭がカツとなる

顔をチンポで撫で回されると  
足から力が抜けた  
ああ……やべえ……  
抵抗できねえ

おっさん  
おっさん  
おっさん

賭けをしようとおっさんは言った  
賭けるのは俺の「女」  
勝てばかなり金を払う

「ケツマンコではなくここを犯す」  
おっさんの下品な言葉で体が震える

「ただしそれはお前から懇願されたらだ」  
期限は今晩中  
そう言っておっさんは  
ゆっくりと指をオマンコに這わせる  
ちくしょう……何でも思いどおり  
なると思うなよ……う

おっさん  
おっさん  
おっさん

おっさん  
おっさん  
おっさん



おっさんの乳責めが始まって  
俺はすぐ賭けを後悔した

ことごとく俺のツボをつく触りかたと  
いじり方——まさかこれ  
あのジジイがっ教えて——っ

たったの数分で  
俺は泣きが入った

「ずいぶん育ったな」  
好きで育ったんじゃないやねえよ！  
言い返した俺に  
「惚れ惚れするほどいやらしい淫乳だ」

ちよつと待て——これつてまさか  
いつも使われて——  
あつ——あ……あああつ  
こんなにたくさんっ……!!



無理——無理だこれ  
このおっさんうま過ぎる

ちび♡  
も♡や♡あ♡

ちび♡  
や♡あ♡  
お♡あ♡

ただでさえ敏感になつてんのに——  
うわああ……やめろお……  
耳舐めながら喋るなあつ

葉足すなよオ……っ！  
だつてもお十分じゃねえかよお！  
乳首だけで俺——

まっ♡ん♡な♡ん♡

ちび♡  
も♡や♡あ♡

あつあつあつ——  
ここでケツマンコ反則うううっ！  
触られ方憶えてて——  
勝手にケツマンコ屈服しちまうよお



やらああああ！  
負けたく……ねえのにいっ！  
おっさんの指と舌スゲエよお

負けたら「女」に  
おっさんの女にされちまうのにい！  
なんでこんなないうめえんだよお！  
絶対イケないように  
黽（こ）られて  
あつ……あつ……あああつ！

たひゆけ——とけるう  
俺がとけて——ドロドロになるう  
負けたらオマンコ愛人なのにい  
オマンコ奴隷にされちまうのにい

「女」にされてイカされて——  
もつといやらしくされちま  
あ……あああ——っ！







一突きでオマンコ愛人に墮された俺は  
そのままおっさんに一晩中念入りに  
屈服アクメを子宮に染み込まされた

ゆつくりとした抜き差しで  
逃げ場のない深イキを味わわされた

激しく奥を突かれまくって  
小刻みな絶頂に押し上げられて  
鳴かされまくった

ズリユユ

特に射精される快感が  
本当にヤバかった

子宮の奥にチンポを密着されて  
射精された時は  
思い返しても腰が震える

どんなに言っても  
止めてもらえず  
何度も何度もたっぷりと  
屈服アクメを仕込まれた

「もっとグチヨグチヨにしてやろう」  
「世界一いやらしい体にしてやる」  
耳元で囁かれながら  
結局俺は後半ほとんど  
意識を失いながら犯され続けた



後日見せられた写真には  
夜明け直前まで犯され  
とんでもないアホ面を晒した  
俺が写っていた

ケツもマンコも両方共おっさんの  
いいようにされてしまった上  
これで俺は完全に  
おっさんの愛人奴隷だ――

明日も一日愛人調教  
頼むから親父  
来るなら出来るだけ早く  
さもないと……もう――

ドオオ



あ。どうも片耳豚です。  
何が何やら分かりませんが  
個人的に盛り上がり引かなかったんで  
乱馬の二冊目です。  
あとがきです。

今回は続きっちゃあ続きですが  
そうでもないっちゃあそうでもないですねアイター  
らんまも俗に言う懐古モノにあたるんですかね？  
どうなんでがしよ。  
年齢上がると加速度的に時間過ぎますから  
10年とか最近じゃね？ そうじゃね？

今の子達もムシブギョーとかみて  
「結局なんだかんだで一番使ったのは桃まんだったよね」  
とか話すんでしょうか感慨深い。

えーまあそんな感じでそろそろ終わります。  
因みにるーみっくでは一番好きなのは女らんまですが  
二冊目はサクラ先生だったりします。

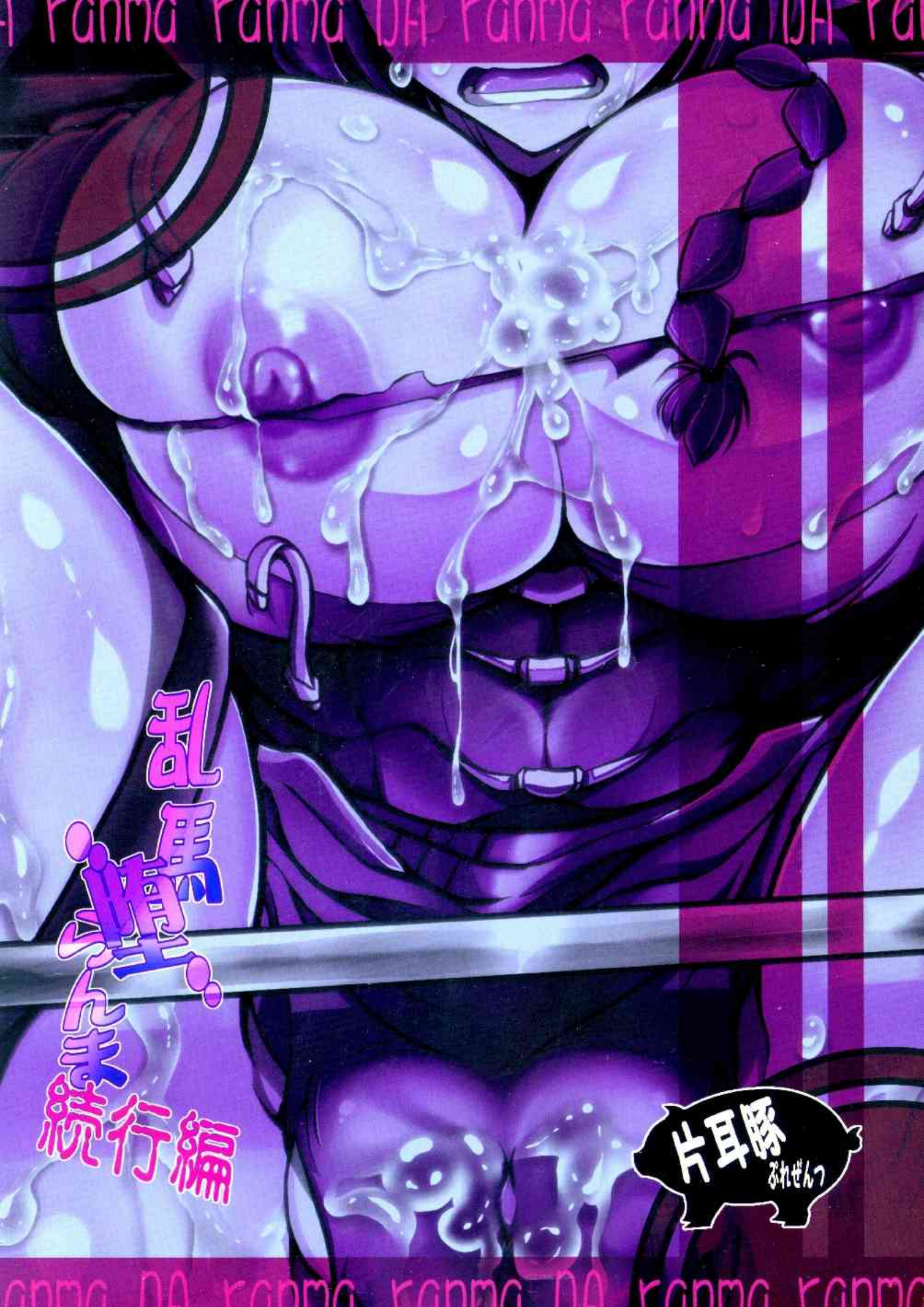
PS:大変! 臀部が大変なの!



奥付  
発行 / 片耳豚  
発行日 / 2013/04/28  
印刷 / コムフレックス  
連絡 / [katamimibuta@yahoo.co.jp](mailto:katamimibuta@yahoo.co.jp)



kanma kanma DA kanma kanma DA kanma kanma



乱馬

½

未  
続行編

片耳豚  
ふれせん?

kanma DA kanma kanma DA kanma kanma